

街中の「心象風景」

かつて、小路は自然発生的に商店が軒を連ね形成されていった

小路にはその形成過程に起因した、独特な空気感が存在する

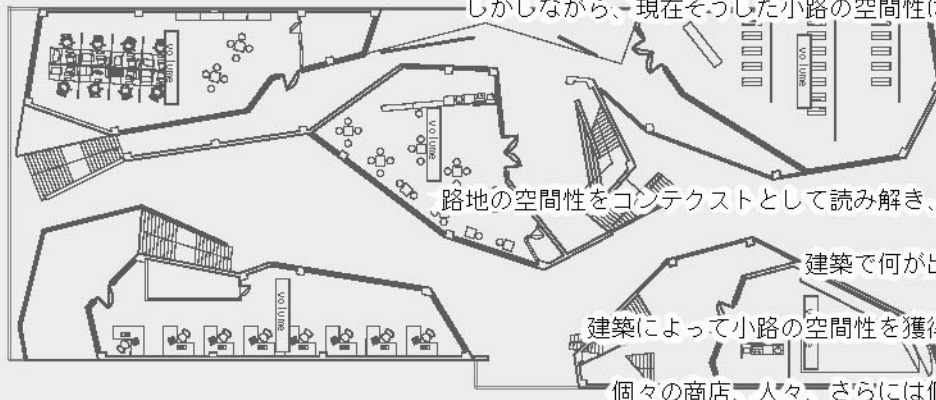
それは日本人が「ソ」と表現してきた中称で

曖昧な領域であり、密度、距離感に由来する知覚によるもの

五感を刺激し身体全体で感じるその領域では

複雑で厚みのある空間認識がなされていた

PLAN 2nd floor



しかしながら、現在そうした小路の空間性は失われてきている

路地の空間性をコンテキストとして読み解き、保存させるために

建築で何ができるのかを考えた

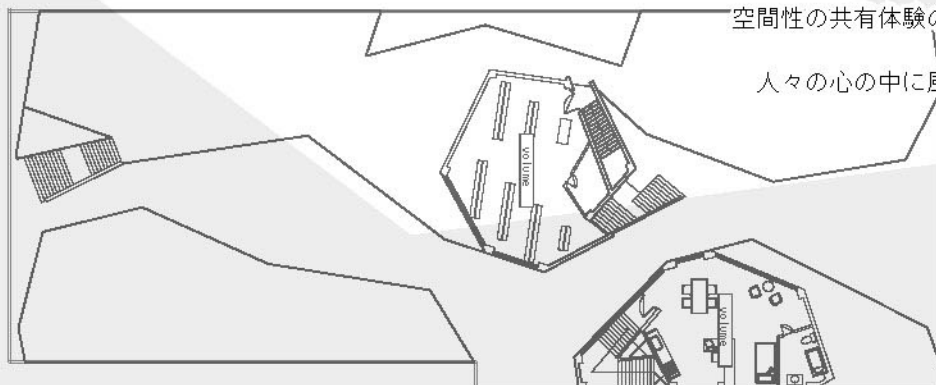
建築によって小路の空間性を獲得することを目指し

個々の商店、人々、さらには個人の意識をつなぐ

道標としての小路の設計を行なった

それは商店街という商店群への可能性の提示

PLAN 3rd floor



空間性の共有体験の場としての小路は

人々の心の中に風景となり刻まれる

